



新山梨環状道路

(広瀬～桜井)

つながる地域・広がる交流

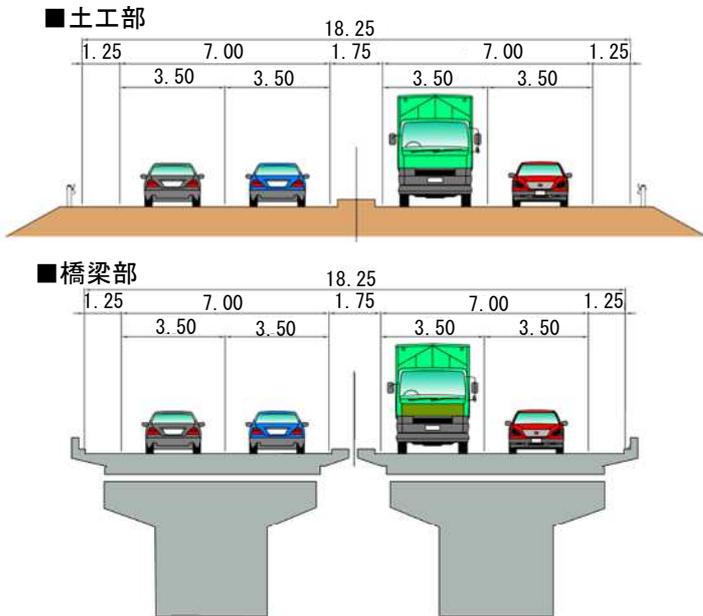


国土交通省 甲府河川国道事務所

○ 新山梨環状道路(広瀬～桜井)の概要

新山梨環状道路(広瀬～桜井)は、甲府市周辺の渋滞を改善し、多様な交流の促進や観光活性化を目的とした延長2.0kmの道路事業です。

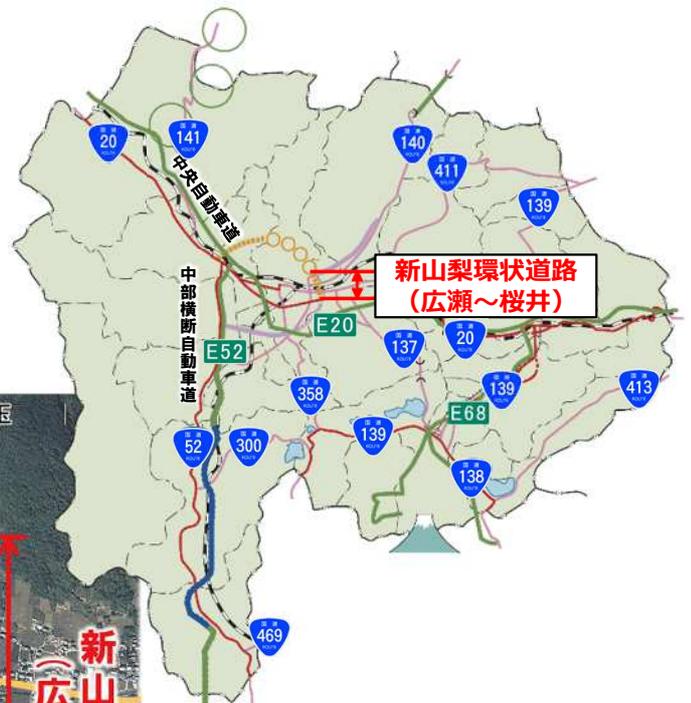
標準断面図



計画諸元

路線名	一般国道20号
区間	自)山梨県笛吹市石和町広瀬 至)山梨県甲府市桜井
概略延長	2.0km
構造規格	3種1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線

計画平面図



通過交通の排除や、通過交通排除に伴う一般道の混雑緩和により、所要時間の短縮に期待

【参考】

広瀬IC～桜井JCTの所要時間

■ 現状(一般道経由)

約9分(広瀬IC～向町二～桜井JCT)



■ 新山梨環状道路経由

約2分

出典：ETC2.0プローブデータ(R4.9～11月)
(新山梨環状道路は80km/hと設定)

※混雑度とは

道路の混雑を示す指標であり、1.0を超えると、混雑が発生する可能性があります。中でも慢性的混雑状態は、最も劣悪な状況(長時間混雑する状況)を示します。

○ 新山梨環状道路周辺の現状

甲府市周辺では慢性的に渋滞が発生しています。

- 甲府市周辺では、県内の主要渋滞箇所の約8割が存在しています。
- 特に、主要幹線である国道20号は、交通が集中し混雑が著しくなっています。

■ 国道20号の状況 (写真1)



■ 新山梨環状道路周辺



甲府市周辺

(=甲府都市圏)
甲府市、甲斐市、中央市、昭和町、
南アルプス市、富士川町、
市川三郷町、笛吹市、山梨市

出典：山梨県の主要渋滞箇所の特定結果(H25.1.14)をもとに整理

○ 新山梨環状道路(広瀬～桜井)の効果

多様な交流を促進します。

- 広瀬～桜井間の整備により、国道20号から周辺地域に用いない通過交通が減少します。
- 通過交通の減少により、都市間連携など多様な交流を促進し、地域の活力維持に貢献します。

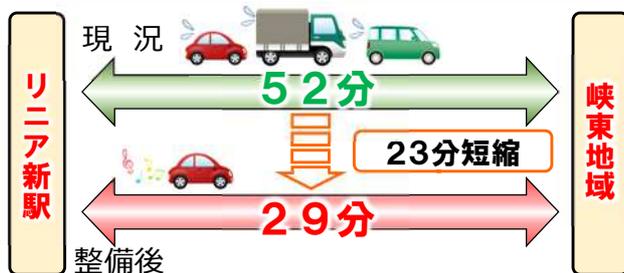
■ 国道20号(甲府市)の通過交通量



観光活性化に貢献します。

- リニア中央新幹線(東京-名古屋間)開業により甲府-東京間が約25分で結ばれるメリットを活かして山梨県では、東京都心からの1時間圏域の拡大を推進しています。
- 広瀬～桜井間の整備は、この1時間圏域拡大や、峡東地域等の観光活性化に貢献します。

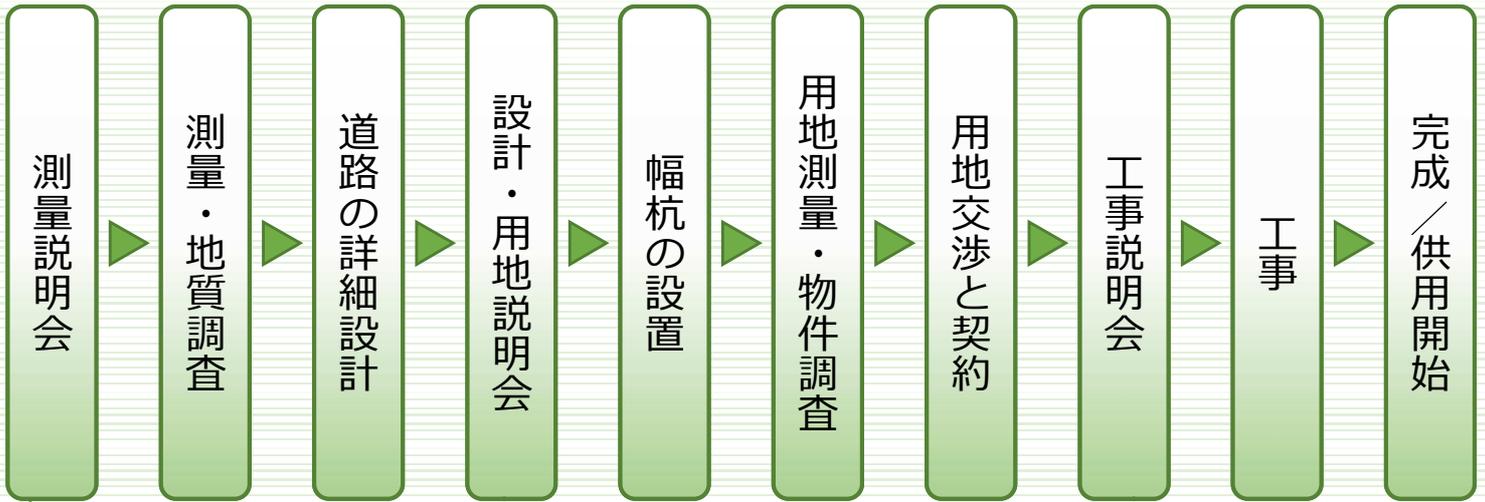
リニア新駅から峡東地域※の所要時間
※恵林寺を代表として算出(混雑時)



出典：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査(混雑時旅行速度)により算出(新山梨環状道路は80km/h、市道は30km/hと設定)



○ 今後の流れ

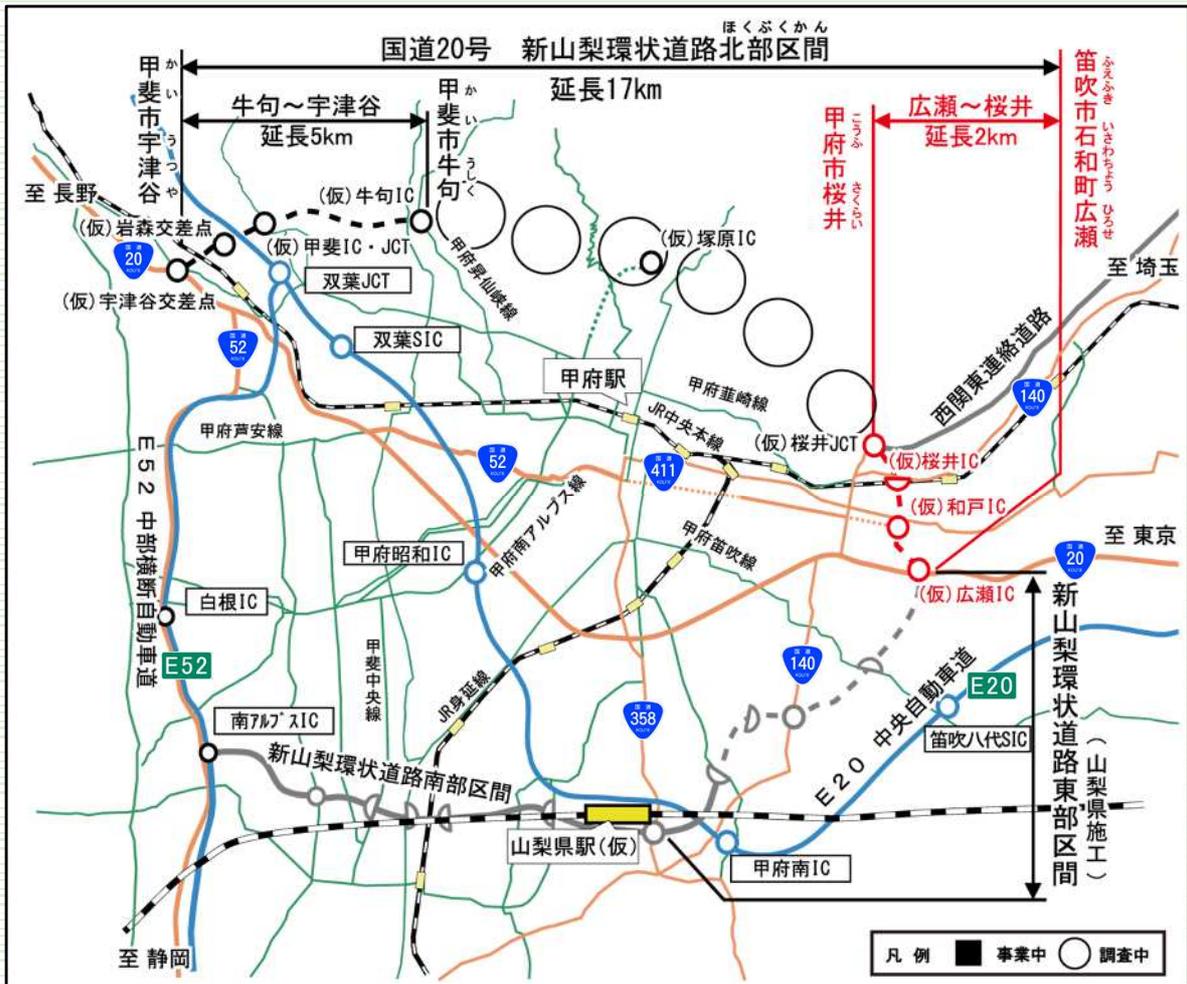


● 測量や地質の調査等のため、計画道路の概要を関係者の方々に説明を行います。

● 設計図を基に具体的な用地幅について説明を行います。
● 関係者の方々に用地補償等の説明を行います。

● 関係者の方々に工事の実施方法、工事期間中の交通処理等の説明を行います。

交通円滑化・多様な交流促進により地域を元気に



国土交通省 関東地方整備局

甲府河川国道事務所

〒400-8578 山梨県甲府市緑ヶ丘1丁目10-1
TEL: 055-254-6571 FAX: 055-254-9253
<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>